



会長 菅原文之
 幹事 佐々木源悦
 会報 佐々木崇光 佐藤静市
 高橋利光 渡辺光悦
 例会場 サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2312回例会 2011. 7. 28 No. 3

本日の出席率

- ・本日の出席率 86.8%
- ・前回確定出席率 100%

ニコニコボックス

- ・佐藤尚ガバナー補佐 公式訪問よろしく。
- ・菅原文之の会長 佐藤尚ガバナー補佐の佐沼クラブ公式訪問を歓迎して、一年間ご指導宜しくお願ひ致します。家族納涼例会、親睦活動委員会の皆様大変お世話様でした。ゲーム等楽しく過ごしました。
- ・鈴木彦太会員 佐藤尚ガバナー補佐、米山奨学生朴君のご来訪を歓迎して。
- ・佐藤幸一会員 佐藤尚ガバナー補佐並びに朴さんを歓迎いたします。
- ・阿部泰彦会員 米山奨学生朴さん、佐藤尚ガバナー補佐をお迎えして。
- ・高橋義文会員 佐藤尚ガバナー補佐並びに米山奨学生の朴殿緒さんを歓迎します。
- ・阿部賢悟会員 築館ロータリークラブ出身の佐藤尚ガバナー補佐を歓迎致します。今年度一年間よろしくお願ひ致します。
- ・布施孝之会員 歓迎！米山奨学生
- ・猪股育夫会員 会計フォーラム宜しくお願ひします。
- ・杉田広仁会員 納涼例会、伊藤俊郎委員長ご苦労様でした。
- ・高田次雄会員 35年前（1976年）7月28日の今日、中国河北省唐山、豊南地区でM7.5の大地震発生、死者65万人という大惨事が起きております。3.11以後日本列島の地下がぐちゃぐちゃ状態、余震がいまだ続いており、収まる気配なし、大きいのが来ないようにと。又、原発（放射能）の早急の終焉を願っております。ガバナー補佐公式訪問、大歓迎します。

- ・佐々木源悦幹事以下 佐藤尚ガバナー補佐を歓迎！
 村上武彦会員 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員
 氏家良典会員 伊藤俊郎会員 菅野幸一郎会員
 山田直志会員 二階堂學会員 佐藤静市会員
 遠藤光則会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員
 佐々木功一会員 小泉洋会員 高橋利光会員
 富士原裕子会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原文之の会長

本日は、第5分区分米栗原ゾーンのガバナー補佐であります、築館ロータリークラブ所属の佐藤尚ガバナー補佐がお見えになっております。佐藤尚ガバナー補佐には、今後ゾーンのガバナー公式訪問、親睦行事、4クラブ合同例会、G・S・E等のご指導を受けることとなります。よろしくお願ひしたいと思います。
 先週、恒例となっております当クラブの家族納涼例会が若鯨会館で開催されました。大震災後の行事となりましたが、民謡歌手による演奏やゲーム等で盛り上がり、時間もだいぶんオーバーして終了致しました。伊藤俊郎親睦活動委員長をはじめ、司会を務められた岩淵栄市会員、委員会の皆様大変ご苦労様でした。
 8月4日(木)の例会に大宮シティークラブの伊藤悟会長、加藤幹事、清水奉仕プロジェクト委員長の3名が参加希望の連絡がありました。永井前会長からの継続支援事業を実施するに当たり、新執行部として色々と実態を把握したいということで、佐沼クラブ訪問となりました。
 気仙沼高等学校、定時制生徒の給食用米の支援要請がきております。米500kg、生徒55人分でこれだけあれば8月から来年の7月まで間に合うということです。米500kgは10万円位です。昨日、教頭先生に、私と遠藤光則副会長、阿部賢悟支援委員長の3名で会い、支援することに決めました。詳細は、阿部賢悟委員長より。

幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・ガバナー事務所より
 1. ガバナー公式訪問日程表正誤表について
 2. RI本部取材クルーへの協力について
 3. 半期報告書の記載方法について
 4. 東北へメイクアップに行こう！キャンペーンについて
- ・榎山直樹直前ガバナーより
 支援物資、義援金の報告について
- ・岩出山RCより、創立40周年記念誌が届く。

各委員会報告

- ・親睦活動委員会（伊藤俊郎委員長）
 納涼例会に50名の参加をいただきありがとうございました。子供さんの参加が少なくちょっと淋しい思いをしました。時間の関係で予定しておりましたゲームが一部出来ませんでした。残った景品は次回の親睦活動委員会の事業で使います。
- ・米山記念奨学会（二階堂學委員長）
 本日、米山奨学生の朴殿緒さんが見えています。朴さんは、5月から月1回例会に参加しますので、皆様、仲良くお付き合いしていただきたいと思ひます。
- ・災害支援特別委員会（阿部賢悟委員長）
 気仙沼高等学校定時制の米の支援について
 県災害対策本部からの支援が7月で打ち切りになるので、その後佐沼ロータリークラブで支援していただきたいとのこと。精米500kgということでしたので、早速、ロータリー支援物資の方に連絡をしましたが、米については5月で底をつきほとんどないとのこと。そのため支援するには、佐沼クラブで調達が必要と思ひられます。一部はマスコミを通じて調達する予定ですが、半分位は当クラブで支援しなければならないと思ひます。支援の進行につきましては、その都度ご報告いたします。

◎佐藤尚ガバナー補佐のお話

本年度、第5分区分米栗原ゾーンのガバナー補佐をやることになりました佐藤尚です。よろしくお願ひ致します。本年度は、いままでと違ひまして、大震災があり状況が一変しております。私の役目として地区の情報等を登米栗原ゾーンの4クラブに伝えることですので、その仕事を進めていきたいと思ひます。
 先ず最初にRI会長、第2520地区ガバナーの紹介をいたします。お手元に配布されておりますガバナーズレター、ロータリーの友に載っておりますので既にご存知だと思いますが、RI会長は、インド出身のカルヤン・バネルジー氏で、インド出身の会長はこれで3人目だそうです。テーマは「こころの中をみつめよう、博愛を広げるために」で、内容的に家族、継続、変化の3つを掲げております。心の中をみつめようというのは、先ず自分を見つめて下さい、自分の家庭を見つめ、そこから始めて下さいと言うことのように思ひます。詳しくは、ガバナー訪問の時にお話があるかと思ひます。又、ロータリーの友等を参考にさせていただきたいと思ひます。
 今年度の第2520地区ガバナーは、菅原一博氏です。

仙台ロータリークラブの会員で1946年（S21年）生まれ、65歳、菅原学園の理事長です。
 今までは、ガバナー月信は月1回の発行でしたが、今年度は、年4回の発行で「ガバナーズレター」となりました。
 地区運営方針の2番目に、職業奉仕を通し地域社会の復興に貢献すると言う文言になってはいますが、震災前は、地域に合った奉仕活動を実践するという文言でした。これが、復興に貢献するという震災を意識した言葉に変わっております。

地区目標は、①から⑩まで掲げられてはいますが、①の会員維持も震災前とは変わっております。震災により存続の危機に至っているクラブもあります。又、亡くなられた方があったりして会員が減っているというクラブもあります。そういった中で、会員数、クラブ数を何とか維持していきたいという菅原一博ガバナーの意向がこの言葉に反映されてはおります。②クラブの活性化も、各クラブの存続に向け……とあり、震災を受けた当地区の菅原一博ガバナーの意思表示であると思っております。
 地区の震災による影響をお知らせ致します。
 ・被害状況：死亡会員13名、行方不明会員4名、自宅全壊136戸、半壊399戸、事務全壊210社、半壊419社。

これに対していろんな所から協力をいただいております。全国のロータリークラブからの義援金9億1,800万円（5月現在）。被災地区に既に1億1,000万が渡されており、当地区は5,000万円いただき、これは、被災の状況に応じ、榎山直前ガバナーの年度に分配されてはおります。これは、是非各クラブの中で使っていただきたいと思ひます。又、第2520地区に於いてはRIからは、前期人頭分担金の免除が承認されました。地区の運営資金を全て免除することになってはおります。沿岸部と内陸部とは被災の温度差がありますが、少しでもクラブ存続、会員維持をしていきたいとの意向です。

・地区行事

1. ガバナー公式訪問 8月30日(火) 4クラブ合同
 2. 地区大会 24年4月21日~22日予定
- 各委員会は行ないますが、大きな行事は中止です。分区分の行事であるI・Mは中止です。



佐藤尚ガバナー補佐公式訪問